

ハイフォン国際コンテナターミナル 起工式

在ベトナム日本国大使館

5月12日(木)、ハイフォン市カットハイ島ラックフェン国際港建設現場において、グエン・スアン・フック首相、レ・ヴァン・タインハイフォン市党委書記兼人民委員長、深田博史駐ベトナム特命全権大使等が参加し、ハイフォン国際コンテナターミナル(HICT※)の起工式が行われた。

ラックフェン国際港の事業は、日本の技術を活用した円借款による航路や地盤等の整備と、日越合弁の民間事業者HICTによる棧橋や荷役機械等の整備を組み合わせたPPP事業として進められてきており、円借款部分の整備が順調に進んでいることから、HICTによる棧橋等の整備の着工に至ったものです。

ラックフェン港の整備により、外洋の長距離航路に投入される国際コンテナ船が入港出来るようになり、ベトナムの産業の国際競争力を高め、ベトナムの工業化、産業発展に大きく貢献することが期待されます。

※HICT: Haiphong International Container Terminal



レ・ヴァン・タイン ハイフォン市党委書記兼人民委員長



深田博史大使



グエン・スアン・フック首相



セレモニーの様子

深田大使 挨拶

本日、HICT 着工式に出席させて頂くこと、大変嬉しく感じております。まずは、ベトナム政府はじめ、これまでの当プロジェクトにおける関係者のご尽力に心から敬意を表したいと思っております。

このラックフェン港の事業は、日本の技術を活用した円借款による整備と、日越合弁の民間事業者による棧橋や荷役機械などの整備を組み合わせたPPP事業として進められてきており、日越友好の象徴かつ、ベトナムにおける大型PPPインフラの試金石となる事業であります。従いまして、本事業が順調に進捗し、今日、民間ポーシヨンの着工に至ったことは大変喜ばしい限りであります。この事業は、地域のみならず国際海上における平和と安定の維持に資する事業であると考えます。

我が国とベトナムの関係は、これまでで最良最高の関係にあると言われております。ベトナムの新指導部の始動後、直ちに岸田外務大臣が訪越したことは、日本がベトナムとの関係を重視していることの表れであり、また、フック首相におかれては、我が国との関係を重視する旨重ねて伝えて頂いておりますが、今月末のフック首相の訪日により、両国の関係が更に深化し、強固なものになるものと確信しております。今後ともフック首相のリーダーシップのもと、ベトナムの経済社会が発展するとともに、両国の関係が更に深化していくことを期待しております。

この最良かつ深化した関係のもと、日本政府は様々な分野への協力を通じてベトナムの経済・社会の発展を支援しておりますが、今後のベトナムの経済発展のためには、とりわけ交通インフラの整備が必要不可欠であります。

我が国は今後とも、こうした支援を通じ、ベトナムの経済・社会の発展を支えてまいりたいと思っております。最後になりますが、今後の日越の友好関係の深化、フック首相はじめベトナム新政府の皆様、及び本事業の関係の皆様のご健勝を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。（了）